

2. 地区の特性及び防災対策の方向性の補足（実花小学校区）

1) 地区内の人口状況：平成 25 年調査結果との比較

◆市総人口：161,047 人/H25 年 ⇒ 175,065 人/R5 年 【14,018 人増】

	H25 年 3 月		R5 年 3 月		備考
	人口	割合	人口	増加	
地区全体	8,280 人	⇒	9,198 人	★918 人の増加	
0 歳～9 歳	1,140 人	13.8%	1,059 人	11.5%	627 人
10 歳～14 歳					432 人
15 歳～19 歳	5,517 人	66.6%	5,845 人	63.5%	422 人
20 歳～29 歳					1,017 人
30 歳～59 歳					3,847 人
60 歳～64 歳					559 人
65 歳～69 歳	1,623 人	19.6%	2,293 人	24.9%	458 人
70 歳～79 歳					1,063 人
80 歳以上					772 人

●全体として人口は増加しているが 14 歳までの人口が減少  
●65 歳以上の人口数対生産年齢人口数比 ★1 人対 2.5 人

2) 丁目ごとの標高

◆東習志野

丁目	最高	場所	最低	場所	高低差
1 丁目	28.4m	3 番 16 号ファミリーマート駐車場	24.6m	10 番 10 号付近の道路	3.8m
2 丁目	29.0m	10 番 3 号付近の道路	25.4m	1 番 2 号実籾交番	3.6m
6 丁目	29.9m	22 番 6 号フジフーズ	23.5m	8 番 16 号付近の道路	6.4m
7 丁目	30.4m	6 番 5 号付近の道路	20.5m	2 番実花緑地北端	9.9m
8 丁目	30.9m	26 番 21 号付近の道路	19.6m	13 番 10 号付近の道路	11.3m

※国土地理院地図データから職員が手作業により、検索しているため、多少のズレ有

3) 丁目ごとの災害特性：全壊・半壊棟数＝千葉県北西部直下地震想定時

丁目	揺れ		液状化 全半壊	河川氾 濫浸水	内水氾 濫浸水	高潮 浸水	土砂 災害
	全壊	半壊					
東習志野 1 丁目	38 棟	82 棟	0 棟	なし	13 棟	なし	なし
東習志野 2 丁目	9 棟	26 棟	0 棟	なし	34 棟	なし	なし
東習志野 6 丁目	74 棟	160 棟	0 棟	なし	217 棟	なし	なし
東習志野 7 丁目	12 棟	29 棟	0 棟	なし	54 棟	なし	なし
東習志野 8 丁目	70 棟	190 棟	0 棟	なし	52 棟	なし	なし

#### 4) 住民の視点から見た地区の災害特性：H25年ワークショップ

連番	区分	意見等内容
1	防災体制	◆八千代市、千葉市、船橋市と隣接している場所なので、災害時の対応・連携を十分に検討しておく必要がある。
2	避難所 ・避難場所	◆実花小学校グラウンドの裏門は、普段は鍵がかかっているため、災害時の運用を検討する必要がある。
3	避難経路	◆東習志野8丁目は避難所まで距離があり、高齢者の避難・移動が困難なことが予想される。
4	内水はん濫	◆地区内では（鈴木金属工業(株)付近の十字路など）以前より、大雨の際によく道路冠水を起こしているため、水の被害が心配である。
5	複合災害	◆化学工場等が多い地区であるが、災害時に複合的な事故が発生しないか不安である。

#### 5) 住民の視点から見た防災対策の方向性：H25年ワークショップ

連番	区分	意見等内容
1	防災体制	◆隣接市の避難所（八千代西小学校等）の方が近いという区域もあるため、市域を越えた避難ができるよう行政間で連携強化する。避難場所として、自衛隊の敷地や周辺の空き地等を有効に活用できるよう連携を図る。
2	避難所 ・避難場所	◆登下校時に災害が発生した際に、一時的に避難できる場所として、民間施設の利用（大型スーパーや工場）との連携を強化する。
3	要配慮者対策	◆親が不在の子供たちや、すぐに動けない高齢者について、避難を支援する方法を考えておく。 （町会ごとに支援する担当を事前に決めておくなど。）
4	安否確認	◆避難時の取りこぼしを少なくするためには、日頃からのご近所同士の連携が大事であるため、日中、夜間の在宅状況等の把握を推進する。